***2021年度国際連携タスクフォース活動計画***

　新たな経済連携協定や貿易円滑化協定などの国際取引の枠組みの中で、商取引・金融・生産の情報連携によるビジネスインフラ構築のために、関連タスクフォースと国連CEFACT日本委員会・標準促進委員会と協力して、国連CEFACTおよびアジア地域における国際連携調査研究を行う。

（１）国連CEFACTにおける国際標準化とその普及

・国連CEFACT日本委員会の下、国連CEFACTにおける手法技術PDA、国際サプライチェーンPDA、およびライブラリ管理チームに参加し、日本提案を含む標準の策定・保守と普及に貢献する。

* 国連CEFACT組織運営への協力
* アジア太平洋地域ラポータ：SIPS菅又理事
* 技術仕様ドメインコーディネータ：SIPS菅又理事
* 技術審査フォーカルポイント：SIPS遠城理事
* 国連CEFACT総会（オンライン）2021年4月
* 春季国連CEFACTフォーラム（オンライン）2021年4月
* 秋季国連CEFACTフォーラム（場所未定）2021年10月（未定）

・AFACTを通じ、アジア各国の情報連携電子化状況とその取組みを調査するとともに、国連CEFACT標準に基づくSIPSビジネスインフラの普及を図る。2021年はマレーシアがAFACTの議長国を務める。

* AFACT中間会議（オンライン）2021年7月
* AFACT総会（場所未定）2021年11月（未定）

（２）新技術に対応する国連CEFACTプロジェクト参加

・日本提案の国連CEFACTプロジェクトを推進

* 2020年度に公開したXMLメッセージ構築ガイドラインに対応するための国連CEFACT技術仕様（CCBDA、NDR）修正プロジェクトを推進する。
* AI連携のための電子交渉メカニズム（eNegotiation）の標準化プロジェクトを進め、業務要件仕様（BRS）と実装ガイドを完成する。
* XMLメッセージ構築ガイドラインに呼応し、ユーザー間で使用する情報項目を決めるための企業間システム協同メカニズム策定のための新プロジェクトを検討する。

・国連CEFACT標準化プロジェクトに参加し、国内への適用につき検討する。

* EDIのAPI化プロジェクト（RDM2API）を評価し、国内実装の適否につき検討する。
* 自動車業界スケジューリング改訂プロジェクト（Automotive）につき、国内JIT EDIへの影響を分析する。

・サプライチェーンマネージメントにおけるIoTによるアセット・トラッキングの実装につき調査研究する。

